

広報

しんじょう

10
2007

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.598



モンテディオ山形ふれあいフィールド(9月20日/最上公園)

市長就任のあいさつ……………2

小桧室地区宅地分譲……………3

18年度決算報告……………4

自分らしく生きる……………6

広告を掲載しませんか……………8

いきいき新庄人／エコ通信……………9

しんじょう見聞録……………10

10月のお知らせ……………12

大人がはぐくむ子どもの心……………14

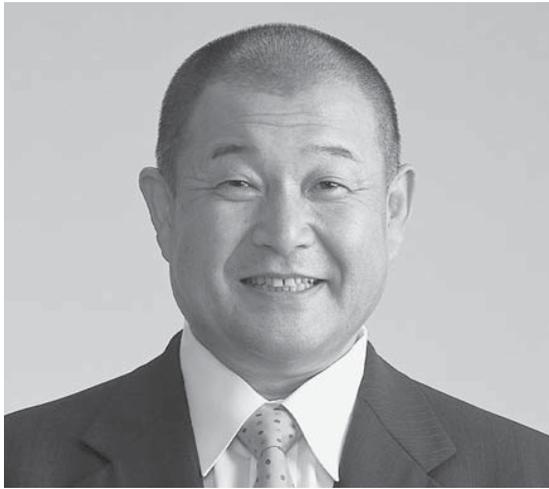
平和都市宣言旗 [生命樹]



新庄市平和都市宣言を象徴する旗。青空に力強く伸びる大樹と生きることの尊さを表現。昭和59年5月26日から市庁舎前に掲揚している。

新庄市ホームページ

<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
E-mail info@city.shinjo.yamagata.jp



新庄市長 山尾順紀

人、行きかうまち 人、ふれあうまち 人、学びあえるまち 新庄

このたび新庄市長に就任しました山尾順紀です。市民の皆さまよろしく申し上げます。

わたしの家族は、母、妻、子ども三人の六人家族です。趣味は、そば打ちや赤南蛮の麴づくり、きゅうりの置き漬けなど、食に関するものに挑戦しています。ソフトテニスはまだあまり動けなくなっていますので、口で勝負しています。後輩には、「テニスに勝つには自分がされていやなことをすればいいが、いったんコートから離れたら逆に自分がされていやなことをしてはいけませんよ」と言い続けてきました。

わたしは、わたしを育ててくれた四季のはっきりした新庄が好きです。雪は降りますが、おいしい水を恵んでくれます。ある方が「米沢は牛がいい、山形は値段がいい、新庄は味がいい」という話をしてくれましたが、これも水が原点だと思えます。また、棒ダラ、カラカイ、昆布巻き、手間のかかった味は格別です。それに馬刺し、ガッキ、鳥もつラーメン、それぞれ個性のあるおそば、天井、カツ丼、お寿司、海鮮類、なんとも口元がゆるんできます。春のカド焼きまつり、新庄まつり、どれをとっても超一流です。セールスがちよつと下手かも知れませんが、「何にもない、何にもないまち」から、「これもある、あれもあるまち」に変身させるには、市民みんなでセールスマンになりましょう。わたしも一生懸命新庄を売り込みます。楽しい情報、美味しい情報は人をひきつけます。「人、行きかうまち 人、ふれあうまち 人、学びあえるまち」が新庄にはおにありです。

厳しい財政事情ではありますが、市民の皆さまのご理解を得ながら、確実に財政再建し、新庄は変わった！新庄は動きだした！新庄が新庄市民だ！といわれるまちづくりに、アイデアと行動力で、先頭に立つてがんばります。子どもたちに自慢できるまちを皆さんと一緒につくります。

平成18年度
新庄市

決算報告

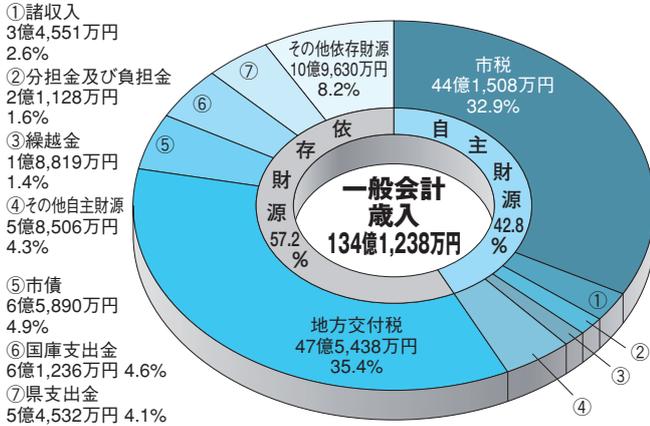
九月市議会定例会で、平成十八年度の決算が承認されました。決算とは会計年度の予算に対し、実際にどれだけ収入・支出があったかをまとめたものです。

十八年度は、財政の健全化を目指す「財政再建計画」を着実に実施し、歳入歳出差し引きで、二億八千二百五十九万円の黒字となりました。

一般会計 歳入 総額

134億1,238万円

前年度比4.8%減



特別会計・企業会計決算

区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	40億1,362万円	38億6,424万円
交通災害共済事業	1,167万円	1,167万円
老人保健事業	35億3,528万円	35億1,325万円
公共下水道事業	14億5,173万円	14億5,012万円
農業集落排水事業	8,825万円	8,825万円
営農飲雑用水事業	5,177万円	5,177万円
介護保険事業	24億8,882万円	24億2,735万円
水道事業	12億9,724万円	12億7,003万円
収益的収支	12億9,724万円	12億7,003万円
資本的収支	6,785万円	5億3,589万円

市民一人あたりに使われたお金
(一般会計歳出/人口)

326,669円

区分	金額
民生費	81,124円
公債費	55,171円
衛生費	40,036円
総務費	39,269円
土木費	31,284円
教育費	28,940円
農林水産業費	17,569円
消防費	15,805円
その他	17,471円

市民一人あたりが納めた市税
(市税/人口)

109,847円

※19年3月31日現在 40,193人

【指標で見る新庄市の財政状況】

区分	起債制限比率 標準的な財政規模に占める一般会計の借金の返済割合	実質公債費比率 標準的な財政規模に占める借金の返済割合。公営企業への繰出金なども借金として反映される借金の実質負担割合(17年度決算から)【18%以上で適正化計画策定。25%以上で地方債借入制限】	経常収支比率 市税など自由に使えるお金に対し、人件費や公債費など必ず支出しなければいけないお金の割合【70~75%が妥当とされ、数値が低いほど財政にゆとりがある。80%以上が要注意】	財政力指数 市の必要な経費をどのくらい自前の収入でまかなっているかを示す指数(地方交付税などへの依存度)【1.0に近いまたは越えるほど財源に余裕】
平成18年度	15.4%	30.1%(29.6%)	99.7%(97.5%)	0.497
平成17年度	16.4%	29.9%	99.5%	0.495
平成16年度	16.1%	—	99.2%	0.490

※()は、17年度と同じ基準で計算した場合の数値

新しい財政指標 実質公債費比率

財政状況を測定する新しい指標として、十八年度から「実質公債費比率」が導入されました。これは、自治体の収入(標準財政規模/税の一定額と普通交付税額を合わせた金額)に対する借入金返済額の割合を示す指標(三カ年平均)で、一般会計だけでなく、特別会計、一部事務組合、借入金と同様の債務負担(将来にわたる負担を決定したもの)を含めた数値です。

本市においては、一般会計のほか、下水道などの特別会計および最上広域市町村圏事務組合の借入金返済額、債務負担の国営農業水利事業負担金などが対象となります。

十八年度単年度では改善

十八年度の算定結果(十五~十七年度の三カ年平均)は二十九・九%(全国六番目)で、市民の皆さまにも大変ご心配をおかけしました。このような高い比率となった主な原因は、山形新幹線延伸、下水道整備、最上広域の「ゆめりあ」やごみ処理場建設などの大規模事業が続いたこと、国営農業水利事業負担金の債務負担を設定し

財政用語解説

【歳入】

- 自主財源／税金など自前で収入できるお金
- 市税／市に納めた税金
- 諸収入／さまざまな雑収入
- 繰越金／前年度から繰り越したお金
- 分担金及び負担金／施設など特定の受益者から負担してもらったお金
- 依存財源／国や県などから交付されたり、借りたりしたお金
- 地方交付税／国税から市の財政状況に応じて交付されたお金
- 市債／市が事業を行うために借りたお金
- 国庫支出金／特定の目的のために国から交付されたお金
- 県支出金／特定の目的のために県から交付されたお金

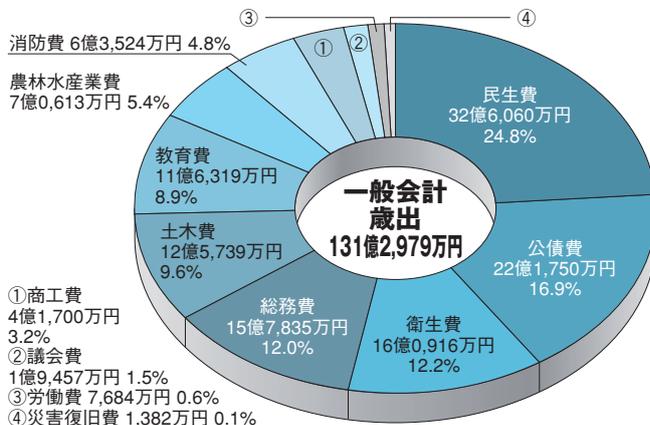
【歳出】

- 民生費／子どもや高齢者、障がい者など、福祉に使ったお金
- 公債費／借りたお金の返済に使ったお金
- 衛生費／健康診断やごみ処理などに使ったお金
- 総務費／税金の賦課・徴収や戸籍住民基本台帳、市有財産管理などに使ったお金
- 土木費／道路や公園、除排雪などに使ったお金
- 教育費／小・中学校、生涯学習施設などに使ったお金
- 農林水産業費／農林業の振興に使ったお金
- 消防費／消防活動に使ったお金
- 商工費／商工業・観光振興に使ったお金
- 議会費／議会運営に使ったお金
- 労働費／勤労者福祉対策に使ったお金
- 災害復旧費／台風などの被害復旧工事に使ったお金
- 人件費／職員などの給与
- 補助費等／団体・個人への補助金や一部事務組合に支出したお金
- 繰出金／特別会計に支出したお金
- 扶助費／福祉や医療などに支出したお金
- 物件費／委託料や使用料など消費的経費
- 投資的経費／道路などの建設費

一般会計 歳出 総額

131億2,979万円

前年度比5.2%減



性質別歳出内訳



最上広域市町村圏事務組合 分担金内訳

区分	分担金額
総務分担金	1億8,134万円
広域交流センター(ゆめりあ)費	(1億3,682万円)
その他	(4,452万円)
衛生費分担金	9億4,627万円
エコプラザもがみ費	(3億8,171万円)
リサイクルプラザもがみ費	(2億8,824万円)
し尿処理費	(2億7,444万円)
その他	(188万円)
消防費分担金	5億1,728万円
教育費分担金	1,558万円
分担金計	16億6,047万円

予算・決算や財政関連計画の詳細については、市ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

たことによります。
十九年度の結果(十六～十八年度の三カ年平均)は三十・一%と前年度から〇・二ポイント上昇しましたが、これは算出方法の変更や下水道事業の追加算入があったことによるもので、単年度で比較すると十八年度は十七年度より一・六ポイント下がっています。

実質公債費比率の減少対策

比率を下げるために大規模建設事業を抑制するなど、新たな借入金を極力つくらないことや繰上償還を行って借入金を減らしています。一般会計と全特別会計の借入金残高は十一年度の三百八十七億円をピークに、十八年度末には三百二十億円に減少しています。

一般会計の借入金残高を一人当たり換算しますと、十七年度末で新庄市は四十七万円。国は六百四十八万円、山形県は九十一万円、夕張市は百二十二万円となっています。

今後とも借入金残高を減らし、職員や手当などの削減、施設の指定管理者制度導入や民間委託、内部管理経費の節減などを着実に実施し、実質公債費比率は五年後に二十五%を下回るよう、財政の健全化を図っていきます。

自分らしく“自立/自律”して生きる

～市民団体がニートやひきこもりの若者支援～

昨年度の市民提案型協働パイロット事業をきっかけに、ひきこもり・ニートの若者を支援しようと「hottoする会」が誕生しました。新庄・最上地域では、このような悩みを持つ若者や家族が相談できる場所がなかったため、会の誕生に期待の声も多く寄せられています。また、今年度から市は若者の自立を支援する、新庄市自立支援教室(リスタート・クラス)を始めています。

近年になってニート(NEET)という言葉をよく耳にするようになりました。これはフリーターと異なり、就職や就学する意思がなく職業訓練もしていない若者を指し、フリーター対策とは別の支援策が必要とされています。

平成十六年の労働白書からはじめてニートにあたる存在が「若年層無業者」ととらえられ、十七年以降の労働白書ではさらに家事・通学をしていない既婚者・学生も加えられ、その数は十五年から十七年は六十四万人、十八年には六十二万人と発表されています。これは、対象となった十五～三十四歳人口の二・〇%にあたります。県内では、同年齢人口の一・一四%、約二千九百八十四人のニートの若者がいると推計されています。(総務省統計局／二〇〇五年国勢調査から)

今回は、ひきこもり・ニートの若者を支援しようと結成された市民団体「hottoする会」について、代表の八鍬美津子さんから活動内容などを紹介していただきます。

発足のきっかけ

「hotto(ほっと)する会」は、市教育委員会が主催する不登校児童・生徒が学校へ復帰するために通う適応指導教室の親の会「気楽に

語る会」に集うメンバーの一部で結成されました。

以前は、子どもの不登校が主な悩みでしたが、月日が経過し義務教育を終えた子どもたちがニートやひきこもりになってしまったり、不登校のことだけでなく、さらにニートやひきこもりについて考える必要があると感じるようになりまし。そこで、この会に参加していた有志が、もっと活動内容を広げるために、新たに会をつくろうということになりました。

協働パイロット事業の成果

昨年十二月に会の設立記念として、他の地域で支援活動を行っている方を講師に招き講演会を行いました。参加者は六十人を超え、予想以上の大反響でした。関係機関からの期待も大きく、ニート・ひきこ



▲講演会「自分らしく自律して生きるには」(平成18年12月3日/ゆめりあ)

※ニート(NEET)……Not in Education, Employment or Trainingの略

職場紹介 市役所の仕事

農業委員会編

農業委員会は、法で市に設置が義務付けられた市から独立した機関であり、現在、農業委員二十四人と事務局五人の体制です。

主な業務としては、農業者の地域の代表として、農地利用における利害関係の調整や農地の流動化の推進など、農政全般にわたる問題を総合的に解決していくことです。

また、農業委員会は、農業者の公正な意見を集約し、農業に従事する者の立場を代表することを期待された農業者の利益代表機関でもあります。したがって、日々の地道な活動を通じて本市の農業を守る「番人」ともいえます。

【法令業務】

農地の権利移動や農地転用についての許認可を中心とした業務で、地域の土地利用のあり方を踏まえて優良農地の確保と担い手への農地の集積を図ることができるよう、毎月調査会や総会において慎重な審議・検討を行っています。

【任意業務】

農地の利用調整を中心に地域農業の振興を図っていくための業務で、



▲hotto(ほっと)する会交流会(19年9月14日/市民プラザ)

もり支援の必要性をあらためて痛感しました。

hotto(ほっと)する会の活動

今年度は、四月～七月は月一回、九月以降は二カ月に一回のペースで家族に限定した交流会を開催し、普段は話せない悩みごとを思いっきり話せる「ホッとする場」を作っています。

参加者からは、「普通は話せないことを話せる場があつて良かった」「同じ悩みを抱える人同士でないとわからない」「こういう場があるのを知らずに一人で悩みを抱えている人がまだまだ多いのでは」「本人が参加できる会もぜひ作ってほしい」などの声がありました。

他地域では、「地域若者サポート

新庄市自立支援教室

～リスタート・クラス～

高校中退または中学校卒業後、就学・就労していない青少年を対象に、社会に参加することの意義などを再確認し、自立できるよう支援します。

○とき 原則毎週火曜日午後1時30分～3時30分、金曜日午前9時30分～11時30分

○ところ わくわく新庄

○内容 参加者同士の交流・体力づくり・ボランティア活動・個人面談など

◎詳しくは、学校教育課☎内線446、教育なんでも相談☎23-7266へ。

活動状況

自立支援教室では関係機関と連携しながら、就学や就労につながるような活動をしています。9月には3人の生徒が、庄内地域若者サポートステーションの事業である「短時間・短期間のお仕事支援」で市内の園芸関係の会社で就労体験をし、また、保育士を目指す生徒は、市内のNPO法人で保育に関わるボランティア活動を体験しています。

今後の活動

これからの活動として、やりたいことはたくさんあるものの、会を発送したばかりなので、現実には会を存続させるのがやっとという状況です。欲張らず、背伸びせず、まずは紹介するようにしています。

「ホッとする会」は、各地で開催される講演会などの情報をできるだけ多く集め、同じ悩みを持つ皆さんに紹介するようにしています。

◎交流会などの問い合わせ先

hotto(ほっと)する会・高橋

090・7937・6208

(午後六時～八時)

担い手となる農業者の育成や農地流動化を推進する取り組みを重点的に行っています。また、耕作放棄地の調査や作況調査などを通じて情報収集を行ったり、農業者年金の加入推進や経営移譲業務も行っています。さらに、毎年夏に河川清掃などのボランティア活動も実施しています。

「意見の公表、建議、諮問に対する答申業務」

地域内の農業問題から世界的な農業問題にいたるさまざまな事項について、農業者の利益代表機関として農業委員会系統組織と連携しながら意見を公表したり、市長や県知事に対し意見を申し述べたり、また、その諮問に応じて答申する業務を行っています。



▲農業委員による作況調査

市ホームページに広告を掲載しませんか



市では、市の資産を広告媒体とした広告事業を行っています。現在、ホームページへのバナー広告を募集しています。会社のPRや求人、事業・イベントなどの宣伝にご活用ください。

- 掲載位置 市ホームページのトップページ
 - 掲載期間 1カ月単位
 - 広告サイズ 横148×縦50ピクセル
 - 広告料金 10,000円(1カ月あたり)
 - 画像形式 JPEG形式
 - 受付 随時
- <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

～広報紙への広告掲載も受け付けています～

- 掲載位置 お知らせページ下1段
市報(各月10日発行)、お知らせ版(25日発行)
 - 発行部数 14,100部
 - 広告規格・料金
全枠(縦42mm×横178mm)／料金20,000円
半枠(縦42mm×横86mm)／料金10,000円
 - 受付 随時
- ※掲載時期は、20年1月の広報からになります。また、申し込みの状況によりご希望に添えない場合があります。
- 詳しくは、総務課協働改革室へ。
☎内線213、Eメールsoumu@city.shinjo.yamagata.jp

♡みんなでささえよう!

最上地域の医療

かかりつけ医を持ちましょう!!

今回は、かかりつけ医とは何か、一緒に考えていきたいと思います。皆さんは、風邪やちょっと具合が悪いときなど、どこの医療機関を受診するか決まっていますか?

○かかりつけ医とは?

「身近にいて、なんでも相談できる主治医」「医療に関する最初の相談役」「あなたの健康管理のパートナー」のことです。具体的には、近所の医院(開業医)がかかりつけ医となってくれる医療機関です。



家族全体の健康状態を把握してくれている「かかりつけ医」があると安心です!

○かかりつけ医のメリットは?

- 入院や専門の検査が必要などときには、適切な医療機関を紹介してもらうことができる。
- かかりつけ医が一人ひとりにあった治療方法を一緒に考えてくれる。
- 検査や薬の重複がなく安心できる。

○県立新庄病院など大きな病院をかかりつけ医にしてはダメですか?

本来、県立新庄病院などの大きな病院(基幹病院)には、高度で専門的な医療を提供するという役割があります。しかし、皆さんが病気の種類や程度に関係なく大きな病院をかかりつけ医として受診すると、患者が極度に集中してしまいます。

かかりつけ医の活用が充実されることにより、大きな病院の混雑が緩和され、病院本来の機能が十分に発揮できます。この機会に、かかりつけ医について考えてみませんか。

この企画特集に関するご意見や地域医療のあり方に関する皆さんのご意見を下記までお寄せください。

○詳しくは、最上総合支庁保健企画課へ。 ☎29-1258
Eメール mogamihoken@pref.yamagata.jp

いきいき
新庄人

目標に向かって いつまでも元気に!

山形県スキー連盟
マスターズスキー協会会長
中野 修一さん(石川町)

「風をきって滑る爽快感とスピード感が一番の魅力です」と話す中野さんは、現在82歳。現役のスキーヤーで、県スキー連盟マスターズスキー協会の会長を務めています。中野さんは、昭和60年に農林水産省農業生物資源研究所(現在のエコロジーガーデン)を定年退職し、64歳のときに全日本スキー連盟指導員を取得し、小学生から中高年まで幅広い年齢層にスキーの楽しさを伝えています。



「在職中は、仕事が忙しく定年退職後の自由な時間を使って指導員の資格を取得しました。その後、スキー指導をしながら、競技にも参加してみたいと思い、75歳のときから



全日本スキーマスターズ大会に出場しています」

中野さんは、平成13年に出場した全日本スキーマスターズ大会75歳代第1戦で優勝、翌年、翌々年の同大会で準優勝の成績を残しています。

こうした前向きな姿勢が評価され、今年9月に内閣府から「高齢者が年齢にとらわれず自らの責任と能力で自由に生き生きとした生活を送る人」に贈られる“エイジレス・ライブ”表彰を受賞しました。

「本当にスキーが大好きで続けているだけで特別なことをしていると思っていませんでしたので驚きました。好きなことをいつまでも続けるためには、体が健康でなければなりません。いつまでも元気に、そして深く考えずに趣味として楽しく気楽にやるのが長く続けられる秘訣だと思います。また、スキー教室の受講生や指導員仲間など、世代を超えて若い人たちと交流できることも大きな魅力です。新庄に生まれたからには、雪とまつりをこれからももっと楽しみたいです。そして今後の目標は、もう一度全国大会で優勝すること。目標に向かっていつまでも元気に頑張ります」と中野さんは、優しい笑顔で話してくれました。

しんじょう Eco 通信

新庄市環境シンボルマーク

先月に引き続き、最上広域市町村圏事務組合で運営する総合資源化施設「リサイクルプラザもがみ」(舟形町富田)の役割について紹介します。

総合資源化施設「リサイクルプラザもがみ」

【最終処分場(埋立地)編】



「リサイクルプラザもがみ」内にある最終処分場は、平成10年4月から平成25年3月までの15年間を埋め立て期間として、ごみが埋め立てられています。

この施設は、埋め立てた後の汚水などを土壤に浸透させないように、高密度ポリエチレンなどでできた2重のシートで覆われ、また発生した汚水は処理施設できれいな水にしてから放流されます。15年間でいっぱいになってしまう予定の施設を少しでも

長持ちさせるため、リサイクルプラザでは徹底した分別が行われていて、再利用・再資源化できないものだけが埋め立てられる仕組みになっています。

この施設がいっぱいになってしまった後、次の埋め立て地を確保するのはかなりの困難が予想されるため、埋め立てるごみの量を少しでも抑え、施設を長持ちさせることが重要で緊急の課題となっています。

みなさん、さらなるごみの減量化を目指しましょう。

ごみ分別ワンポイントアドバイス

プラスチック製品は、『可燃ごみ』に出しましょう。



カセットボンベ・スプレー缶・ライターは『缶・ペットボトル』の収集日に回収用コンテナに入れてごみステーションに出しましょう。

平成19年7月のごみ排出量

1人1日あたり **1,089g**(前年同月比▲52g)

※14カ月連続で、前年同月より減少しています!



◎詳しくは、環境課環境保全室へ。☎内線431

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲第10回わくわく新庄フェスティバル(9月1日～2日/わくわく新庄)



▲もがみフラワーフェスティバル'07で幼稚園児が太鼓演奏を披露(9月9日/ゆめりあ)



▲雪を追い続ける作家シリーズ47「命を編む伊藤佐吉」から作品展(7月25日～12月2日/雪の里情報館)



▲エコロジーガーデンコンサート～みどりやすらぎの調べ～(9月22日/エコロジーガーデン)



▲第21回特別企画展「雪国の未来へ永遠に輝く金字塔・積雪地方農村経済調査展」(7月21日～12月2日/雪の里情報館)



▲雪国地域医療講演会(9月29日/雪の里情報館)

生涯学習の楽しさ発見

わくわく新庄で開かれている各種教室で学ぶ人たちの成果を発表するため、「第10回わくわく新庄フェスティバル」が開催されました。絵画・書道・絵手紙・生け花・ステンドグラスなどの作品が会場いっぱい展示され、歌と踊りの集いや幼児の集いも行われました。

咲き競う最上の花々

花の産地として全国から注目される新庄・最上地区で生産者の技術と意欲の向上を図ろうと「もがみフラワーフェスティバル'07」が開催されました。会場は、生産者たちが丹精こめて育てたトルコギキョウやバラ、リンドウなどで彩られていました。審査の結果、最優秀賞には、小島憲さん(月岡)、伊藤貞雄(市野々)、優秀賞には、二戸寛朗さん(泉田)、赤間優樹さん(昭和)、赤間初男さん(昭和)優良賞には、栗田哲人さん(月岡)が選ばれました。

バイオリンとピアノの美しき調べ

市協働モデル事業としてNPO法人芸術文化振興市民ネット新庄と国際交流茶館くらぶが、バイオリンとピアノ演奏による「エコロジーガーデンコンサート～みどりやすらぎの調べ～」を開催しました。参加者は、エコロジーガーデンの自然と音楽、そしてその音楽にあったお茶を楽しみました。

地域の結びつきが大切

新冬季災害時における救急医療体制をテーマに、県立新庄病院・中嶋凱夫院長を講師に迎えて「雪国地域医療講演会」が開催されました。冬季災害医療において初期救助は人力にたよるところが大きく、助け合いの心を基本にした組織行動や、地域のことをよく知っている人によるボランティア活動などが重要になってくるため、地域の深い結びつきが大切であると語りました。



3年ぶりの並走

1917年(大正6年)に陸羽東線が全線開通してから今年で90年目。これを記念し「蒸気機関車D51陸羽東線全線開通90周年号」が新庄～小牛田間で運行されました。3年ぶりに山形新幹線と蒸気機関車の並走も見られ、汽笛をならし勇ましく走る蒸気機関車の姿に、線路沿いで見送る人たちから大きな歓声があがりました。また、新庄駅でも乗客を迎える歓迎イベントが盛大に行われました。



▲つばさと並走(9月8日)



▲歓迎イベントではそば・いも煮・もちなどが振舞われました(9月9日/新庄駅)

交通ルールを守ります

日没が早くなり、夕暮れから夜間にかけて事故が多発するこの時期に交通事故を防止しようと、秋の交通安全県民運動出発式が行われました。式では、北部保育所の入所児たちが「北部わんぱく太鼓」を元気に披露し、「交通ルールをしっかりと守ります」と誓いました。



▲秋の交通安全県民運動出発式(9月21日/アビエス)

栄光をたたえて

- 第77回全日本選手権大会東北予選会
【ボクシング】フライ級優勝山口靖(大東文化大)ミドル級優勝石川哲也(大東文化大)ライトフライ級②柏倉圭吾(日本大学)
- 第13回市民ゴルフ大会
優勝佐藤義勝準優勝長澤守シニアの部優勝田中伸幸レディースの部優勝伊藤洋子ベストクロス賞田村寛昭
- 第59回最上地区中学校英語弁論大会
【暗唱の部】優秀賞紀伊風花(明倫)優秀賞廣野清香(萩野)優良賞齊藤真央里(日新)
【スピーチの部】優秀賞渡邊康平(新庄)
- 県老人福祉大会山形県知事感謝状
【老人クラブの指導育成】矢作清美(松本)
- ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト
【最優秀賞】鎌田真優(新庄小)小野菜倫(萩野中)【優秀賞】早坂郁人(新庄小)甲州将太(日新中)野川峻海(日新中)【優良賞】井上由紀乃(新庄小)早坂苑子(沼田小)伊藤清十郎(昭和)小田唯(萩野中)小嶋芽衣(萩野中)



▲県知事と明日の新庄・最上を語り合った「夢未来トーク」(9月14日/市民プラザ)



▲第49回市民登山会(9月9日/栗駒山山頂)



▲もがみ子育て講演会「まあせんせいやってくる」(9月29日/市民プラザ)



▲ライオンズクラブ国際平和ポスター展(9月29日～10月4日/ゆめりあ)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

10月の月釜

- 10月21日(日)午前10時～午後3時
- 市民プラザ茶室「風流庵」
- 最上地区方円会・小松和園社中(煎茶)
- ◎市民プラザ ☎22-4200

地域の交流事業を支援します

地域公民館などで地域の子どもや高齢者を対象に、遊びなどを通し定期的に交流の場を提供している団体などに対して経費の一部を補助します。

▼申し込み 10月31日(水)まで

☎福祉事務所児童支援室
☎内線545

高齢者インフルエンザ予防接種料金の一部助成

▼対象 市内在住で予防接種日に65歳以上の人(60歳以上65歳未満で内部障がいにより身体障害者手帳1級に準ずる人)

▼助成期間 10月15日(月)～12月31日(月)

▼助成額 1,000円

☎健康課健康推進室
☎内線513

市総合防災訓練

- とき 10月27日(土) 午前8時30分～11時45分
 - ところ 市役所、最上公園、沼田小学校ほか
 - 内容 消防防災ヘリコプターによる救助訓練など
- 交通規制にご協力ください
- 通行止め 午前8時50分～9時25分 / 最上公園前、最上公園脇(新庄中側)、午前9時15分～45分 / 小松室団地脇
 - ◎詳しくは、環境課消防交通室へ。☎内線437

「突撃! パパ家事・パパご飯」 パパ育児写真コンテスト募集

▼募集内容 男性の家事・育児に関する写真にコメント(50字以内)を添えたもの

▼募集期間 11月22日(木)まで

▼応募方法 写真にメッセージを添えて、被写体との関係、住所、氏名、電話番号、年齢、性別、を記入して郵便またはEメールで

▼応募先 〒996-0084 新庄市民プラザ「ぶらっと」内 LINKS (Eメール links1122@mail.gppn.jp)

※優秀作品には賞品があります。

☎市民活動団体LINKS
☎080-6044-7601

雪に強いまちづくりミーティング

- とき 11月1日(木)午後1時30分～4時
- ところ ゆめりあホール・アベージュ
- 内容 講話「地域コミュニティーや協働による雪対策」(講師/東北工業大学教授・沼野夏生氏)、事例発表ほか
- ◎詳しくは、最上総合支庁建設総務課へ。☎29-1391

市民公開講座

— 乳がんサポートフォーラム —

- とき 10月20日(土)午後1時～
- ところ 県立新庄病院大会議室
- 内容 乳がんに関する講演と乳がん体験者の交流会

— 緩和医療を考える —

- とき 10月28日(日)午後1時～3時
- ところ ゆめりあ会議室
- 内容 がん治療に関する講演と在宅緩和医療についての施設、病院からの報告
- ◎いずれも詳しくは、県立新庄病院医事経営課へ。☎22-5525

自然観察会 紅葉の葉山を歩こう

▼とき 10月14日(日)午前7時45分市民文化会館前集合

▼コース 十部一峠～葉山山頂(十部一峠) 参加費 1,500円(保険料込み)

▼申し込み 事前に電話で

☎神室山系の自然を守る会・海藤
☎22-8713

旧矢島街道の歴史探訪と 甌山周辺の紅葉狩り

▼とき 10月28日(日)午前8時

私道(生活道路)の除雪は 毎年申し込みが必要です

- 提出書類 申込書、雪捨て場同意書、位置図
- 申し込み 11月9日(金)午後5時まで
- ※申請書は各区長または都市整備課からもらってください。市ホームページからもダウンロードできます。
- ◎詳しくは、都市整備課整備管理室へ。☎内線529

合気道を一緒に やってみませんか

▼稽古日【中学生以上】毎週火曜日午後7時～9時【小学生以上】毎週木曜日午後6時30分～8時30分

▼ところ 市武道館

▼申し込み 随時

☎県合気道連盟新庄支部
☎22-1323

やまがた子育てサポート応援団 「おねがい会員」募集

子どもの一時預かりを頼み

外断熱の家 8,356 棟
土屋グループ施工実績全国 NO.1
※平成18年度樹木住宅産業研究所調べ

平清水住宅展示場 申込みは7-11 お-111
0800-700-0228

山形市平清水1丁目1番66号
http://www.tsuchiya.co.jp

ご来場お待ちしております。
一泊体験入居 予約受付中!

体験入居モデルハウス

北方圏の本格木造注文住宅
土屋ホーム東北 山形支店

YBS ビルディング総合管理

ISO 14001
EJ01092/ISO14001:2004
A860875(01)

株式会社 **山形ビルサービス**

新庄営業所 〒996-0041 新庄市大字鳥越字熊ノ沢1498-15 TEL23-1205
本社/山形 支社/仙台・庄内 営業所/米沢

よりよい環境づくりを目指して

YBS企業グループ ■(株)東北レンタル ■(株)テラス ■山形警備保障(株)



「仙台・宮城DC」イベント列車
 「湯けむりがね号」が運行します
 ○10月27日(土)～11月25日(日)の土・日曜日、祝日
 ◎商工観光課観光交流室 ☎内線251

10月のお・知

催しなど

一日合同行政相談所開設

- とき 10月17日(水)
午後1時30分～午後3時30分
- ところ ゆめりあ
- 対応 各行政機関、弁護士会
- ◎詳しくは、市民課市民相談室へ。☎内線125

「産直まゆの郷」紅葉まつり

- とき 10月21日(日)午前9時30分～午後6時
- 内容 秋の旬野菜、花、農産物の販売、きのこ汁ふるまい、焼きおにぎり屋台
- ◎詳しくは、産直まゆの郷☎23-5007、農林課バイオマス推進室☎内線266へ。

第16回 新庄民舞リボンの会 歌と踊りのパラエティチャリティーショー

- とき 10月21日(日)午後0時30分開演
- ところ 市民文化会館大ホール
- 入場料 1,000円
- ◎詳しくは、新庄民舞リボンの会・金岡へ。☎23-1722

第1回 老人福祉センターまつり

- とき 10月26日(金)～27日(土)午前9時～午後3時30分(27日(土)は正午まで)
- ところ 老人福祉センター
- 内容 幼稚園児によるアトラクション、ビンゴゲーム、陶芸・押し花無料体験、将棋大会、作品展示、抹茶無料など
- ◎詳しくは、社会福祉協議会へ。☎22-5797

第10回 市場まつり

- とき 10月28日(日)午前8時～11時
- ところ 新庄青果物地方卸売市場
- 内容 農産物や鮮魚の販売など
- ◎詳しくは、農林課農林振興室へ。☎内線262

第62回 県美展・第49回 こども県展

- とき 10月31日(水)～11月5日(月)午前9時～午後5時(最終日は正午まで)
- ところ 市民プラザギャラリー
- 入場料 200円(成人のみ)
- ※こども県展のみ鑑賞の場合は入場無料です。
- ◎詳しくは、市民プラザへ。☎22-4200

- ▼対象 母子家庭などの母(パートまたは、現在求職中の方優先) ▼とき 11月11日(日)午後1時～5時
- ▼ところ わくわく新庄
- ▼内容 応募書類の作成、面接作法など ▼定員 15人
- ▼申し込み 11月1日(木)まで
- ☎母子家庭等就業自立支援センター ☎023-632-2296

母子家庭等 就業支援セミナー

- ▼対象 6カ月から小学6年生までの児童をもつ人
- ▼内容 緊急時の一時預かり、宿泊預かり、病氣回復期の預かり ▼登録 無料(託児料金は別途) ▼申し込み 随時(平日午前9時～午後5時)
- ☎託児ネットワークきらきら ☎29-4685

プラネタリウム 一般公開

- ▼対象 年少児以上
- ▼とき 10月24日(水)～26日(金)午後6時30分～7時10分
- ▼ところ 最上広域教育研究センター ▼参加費 無料
- ▼申し込み 10月19日(金)午前9時より受付開始(各回先着43名)
- ☎最上広域教育研究センター ☎22-1033

水道メーター 交換のお知らせ

- 計量法に基づき、耐用年数を経過する水道メーターを使用している世帯を対象に交換作業を行います。
- ▼とき 10月13日(土)～24日(水)
- ▼交換地区 中山、小泉、上・下神明町、桜馬場、水上町、三本橋、川原町、住吉町、吉袋町、

公共汚水樹の点検調査を行います(大町・栄町地区)

- 10月22日(月)から26日(金)までの間、下水道課および下水道宅内排水設備工事指定店の職員が宅内に設置された公共汚水樹の設置状況と接続状況を点検調査します。
- ☎下水道課業務普及室 ☎23-5100

農業所得簡易計算の 廃止について

- 「農業所得簡易計算」が18年分の確定申告をもって廃止に

国民年金受給額を 増やしたい場合は?

- 老齢基礎年金の金額は納付月数に応じて変わります。毎月忘れずに納めましょう。なお、毎月の保険料を納めた上で、さらに受給金額を増やしたい場合は「付加保険料(400円)の納付」や「国民年金基金へ加入」という方法があります。どちらか一方の選択になります。
- ※基金については国民年金基金へ直接お問い合わせください。
- ☎023-625-3870
- ☎新庄社会保険事務所 ☎22-2050

新庄税務署個人課税部門

- 東本町、東町、上・下鉄砲町、金沢1～7、幸町、萩野1～4、泉田1～3区、桜通り東・西、旭通り、往還、横根山、赤坂、昭和1～5年度ほか
- ▼委託先 新庄管工事務協同組合
- ☎水道課給水・施設整備室 ☎23-6111
- なりました。これに伴い家事消費などの目安としていた「保有米60kg当たりの単価」と「自家用畑の10アール当たりの収入金額」も廃止になりました。
- ☎新庄税務署個人課税部門 ☎22-5113

七五三の撮影ご予約承ります

- レンタルバック
7歳用¥31,000より
5歳用¥24,000より
3歳用¥19,500より
(バック内容:着物一式・着付け・ヘアメイク・六切りサイズ写真2ポーズ付き)
※レンタルバックご利用の方には、特典としてドレス・タキシードなど洋装1着無料着用サービス!
- お持込みバック
7歳用¥20,000より
5歳用¥16,500より
3歳用¥17,000より
(バック内容:着付け・ヘアメイク・六切りサイズ写真2ポーズ付き)



フォトスタジオミヤギ
TEL22-8067



ベビーショッヰミヤギ
TEL22-0664

STAFF! STAFF! STAFF!

スタッフ急募!!

STAFF! STAFF! STAFF!

●販売業務全般1名 募集 22歳～30歳くらい迄

オシャレやファッションに興味のある方のご応募、お待ちしております!

応募方法: 履歴書に写真を顔貼付の上、下記住所・担当者あてに郵送して下さい。

* 給与、交通費等詳細はお問い合わせ下さい *



株式会社宮城

新庄市大町1-13 TEL22-3151
担当: 都市(トイチ)



「大人がはぐくむ子どももの心」

市が平成十七年度に策定した「いのち輝く新庄 もみの木教育プラン21」の具現化は、学校教育だけで目指すものではありません。

家庭、地域、学校において、人づくりを支える大人の役割が強く求められています。

「教育の日を考える」

今年度制定された新庄市教育の日「コスモスデー」へ向けて準備が進められています。

齋藤宏さん(小田島町)を実行委員長とする実行委員会で計画されている内容について紹介します。

十一月三日は文化会館へ

「コスモスデー」当日は、文化会館へお越しください。記念式典をはじめさまざまな催しが計画されています。

「市民音楽祭」は、今回で四十五回目を迎える伝統ある催しです。市内の小・中学校や市民サークルなどによる質の高い合唱が披露されます。子どもたちの体育・スポーツ面における活躍に「くらへて」普段は、あまり脚光を浴びる機会が少ない文化面の活躍を身近に感じ、貴重な一日です。新庄小、沼田小、日新小の三校は、長い間そろって対外的な合唱コンクールに出場している、本市は県内でも有数の合

唱先進地として知られています。

また、市民による合唱サークルの活動もとても活発です。こうした伝統ある意義深い活動を「コスモスデー」を通して見詰め直す機会にしたいと考えています。

「記念講演会」では、幼児期から青少年期における教育を想定した大人の役割について考える機会を提供することになっています。「青少年健全育成市民会議」や「幼児教育懇談会」などさまざまな教育関係団体と多くの市民が集結する機会となります。

さらに、会場では青少年育成推進員を中心として高校生ボランティアによる「だがしや楽校」が開催されます。小さな子どもたちが楽しめる催しになりますので、たくさん親子連れでにぎわうことが期待されます。

また、シンボルのコスモスの花を装飾し、保育所、幼稚園や学校などの市内教育機関における子どもたちの姿について、パネル写真を通

はぐくもう 豊かな心と地域の絆 新庄市教育の日「コスモスデー」 ～まなび・ふれあい・夢づくり～

- とき 11月3日(出)午前9時30分～午後4時
- ところ 市民文化会館
- 内容 記念式典(午前9時30分～)、市民音楽祭【第1部】(午前10時～)、だがしや楽校(正午～)、記念講演【講師/教育評論家・伊藤竹三氏】(午後0時50分～)、市民音楽祭【第2部】(午後2時10分～)、出張子育て相談会(午前10時～午後4時/講演時間を除く)

して紹介する予定です。

悩みを抱える子どもや保護者を対象にした相談コーナーも設置しますので、気軽にご利用ください。

「コスモス教育月間」の取り組み

「コスモスデー」の前後二週間にも、さまざまな取り組みが計画されています。市民団体による「親子行事」や各学校における「ノーレレ・ノーゲームデー」なども実施される予定です。また、授業参観や学校開放などを計画している学校もありますので、この機会にぜひ子どもたちの教育の場に「足を運んでもらいたい」と思います。

(学校教育課)

郷土の歴史

ひとくち

新庄市史

⑦最上川と

稲舟・矢向神社

最上川は、物資や旅人を運ぶルートとして、昔から大いに利用されてきた。国道四十七号も鉄道もまだできていない明治以前は、内陸と庄内を結ぶ道として、最上川はことごと重要な役目をもっていた。

平安時代前期に編まれた勅撰和歌集『古今和歌集』に「最上川のほれば下るいな舟のいなにはあらずこの月ばかり」という和歌が収められている。□分田に課せられた税としての稲は、最上川の舟を使って、当時庄内にあった国府に運ばれ、その稲を積んだ舟を「稲舟」と呼んだというがそれは都の人にも聞こえた風物詩であったのであろう。

かつて、旧稲舟村の田んぼから、木舟を思わせる二本の木材が発掘された。大きい方は長さ五メートルほど、小さい方は長さ二メートルほどのものであり、これが古歌に詠われた「稲舟」であろうと言われ調査したが、結論は出なかったという。しかし、これが、旧稲舟村の名前に由来しているものである。ちなみに稲舟村は、明治二十二年に成

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『世界がキューバ医療を手本にするわけ』

吉田 太郎 著

マイケル・ムーア監督のドキュメンタリー映画「シッコ」にも登場するキューバの医療制度。経済はどん底、しかしがん治療から心臓移植まで医療費はタダ。日本医療制度のヒントがあるかもしれません。



● 今月のテーマ展示 ●

「美術館」

美術の歴史は、人類の歴史と同じともいえます。ひとつひとつの作品は人間の創造活動のすばらしさをわたしたちに語りかけてきます。今回はこれらの優れた美術品と出会う場として美術館をテーマに展示します。

新着図書

- ◆ひとり誰にも看取られず……佐々木とく子
- ◆陰の声……逢坂 剛
- ◆世界を創った男子ギネス・ハン 1・2……塚屋 太一
- ◆朝顔はまだ咲かないー小夏と秋の絵日記ー…柴田 よしき
- ◆文明怪化……高橋 克彦
- ◆青春の守護者……森村 誠一
- ◆持丸長者 一国家狂乱篇一…広瀬 隆
- ◆中性脂肪・高脂血症これで安心…小学館
- ◆いつまで産める?わたしの赤ちゃん…川田 ゆかり
- ◆Life パパは心の中にある……飯島 寛子
- ◆IQ ってホントは何なんだ?……村上 宣寛
- ◆退職刑事……永瀬 隼介
- ◆オトナの片思い……石田 衣良 他
- ◆心がぼかぼかするニュース2006…文藝春秋
- ◆3秒からはじめる朝美人の練習帖…朝日新聞社
- ◆幕末藩主の通知表……宝島社
- ◆重曹でナチュラルベビーケア…岩尾 明子
- ◆万両ノ雪一居眠り磐音江戸双紙一…佐伯 泰英
- ◆大人になるための社会科入門…乙武 洋匡
- ◆永遠とか純愛とか絶対とか…岩井 志麻子
- ◆挑戦巨大外資 上・下……高杉 良
- ◆湿地帯……宮尾 登美子
- ◆狸穴あいあい坂……諸田 玲子
- ◆ぼくがラーメンたべるととき…長谷川 義史
- ◆ルルとララのアイスクリーム…あんびる やすこ
- ◆おしりしりしり……長野 ヒデ子
- ◆のんのんばあ おぼけどろぼう…水木 しげる
- ◆図書館って、どんなところなの?…赤木 かん子
- ◆まじょまつりにいこう……せな けいこ
- ◆きこえの障がいてってなあに?
……エレイン・アーンスト・シュナイダー

- 開館時間
午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日
- ◎市立図書館 ☎22-2189

蔵書検索



=自然の中で育まれる信頼関係=

～アドベンチャー・イン・カムロ～



九月一日から二日の二日間、親子ボランティア体験交流活動「アドベンチャー・イン・カムロ」を神室少年自然の家を会場に開催しました。
この事業は、財団法人自治総合センターの助成事業で、親子参加による体験活動を通して同世代・世代間の交流を深めることと、子どもたちの育ちにおいてとても意味のあるボランティア活動について学ぶことを目的に開催しました。



子どもたちが自身「きまり」をつくり、自発的に動くように働きかけるといった新しい野外体験活動の「プロジェクトアドベンチャー」を通じ、初めて会った子どもたちもすぐに仲良くなりました。そして「ミニユニケーション」といって、自ら行動すること



によって信頼関係が生まれ、楽しい環境が作られることを学びました。ボランティア活動についての研修会では、ボランティアについての意味や価値をあらためて考え、その自発性はどのように育てられるのか、またその活動になぜ「コーディネート」が必要なのかを学ぶ貴重な機会となりました。
(生涯学習課)

立(松本・角沢・仁間・福田・鳥越の各大字が集合)し、昭和二十三年十二月一日に新庄町と合併した(翌二十四年四月一日市制施行)。
また、本合海の最上川辺に断崖としてそびえる八向山の中腹に、小さな赤い祠の矢向神社が見える。この神社は、日本武尊を祭神とする、当地方で最も古い神社の一つであるが、貞観十六年(八七四)、従五位下という位を授けられたことが記録(『三代実録』)に残っている。それはすなわち、当時から、最上川を利用する旅人や船荷を運ぶ人たちが、舟や航行の安全を祈り、あつく信仰していたということであり、平安時代の昔から、最上川を上下する人々の多かつたことを物語るものでもあろう。

かつろく思い出の四季

たつたら餅



乳飲児が、満一歳になることを「むかえ時」という。この時まで立って歩ける児は、丈夫な児として喜ばれ、餅をつけて祝う。餅は『わっぱ』に入れて背負わせ、いろりの周りを三回歩き回らせる。この餅をたつたら餅という。

餅を背負わせたまま、わざと転がすところもある。これは「餅をつくの意味で、祝いを兼ね、いつそう丈夫に育つようにとの願いである。」

絵||三條正美、文||笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

見・所・探・訪

昔語りのきこえるみち

JR新庄駅から最上公園までの東西軸と北本町から大町までの南北軸の商店街を、市の無形財産である民話を素材にした回遊性のあるシンボルロードにし、商店街の活性化を図るとともに「民話の里・新庄」を発信するため整備したものである。商店街に民話の通り名(中央通り商店街「こぶとり爺さまとおり」、北本町商店街「笠地藏とおり」、南本町商店街「鴨とり源五郎とおり」、大町商店街「かわうそど狐とおり」、駅前通り商店街「金の茶釜とおり」)をつけて、ストーリー性のあるモニュメントやサインを配置し、商店街を散策しながら民話を楽しむことができる。



表紙の写真

元気にシュート!

～モンテディオ山形
ふれあいフィールド～

子どもたちにサッカーに親しんでもらいたいと新庄地区サッカー協会・キッズ委員会の呼びかけで“ふれあいフィールド”が開催されました。今回は大手幼稚園の子どもたち30人が参加。モンテディオ山形コーチ(都修一さんほか2名)の指導のもと、子どもたちは、サッカーボールを使った運動やゲームで楽しく元気に汗を流しました。



8月末現在の新庄人

40,122人(40,568人)

女	20,917人(21,101人)
男	19,205人(19,467人)
世帯数	13,470世帯(13,452世帯)

8月の異動

出生	28人(30人)
死亡	32人(30人)
転入	67人(91人)
転出	86人(105人)

※()は1年前の住民基本台帳